

令和四年後期 書究文化書芸院検定課題

課題4 礼器碑

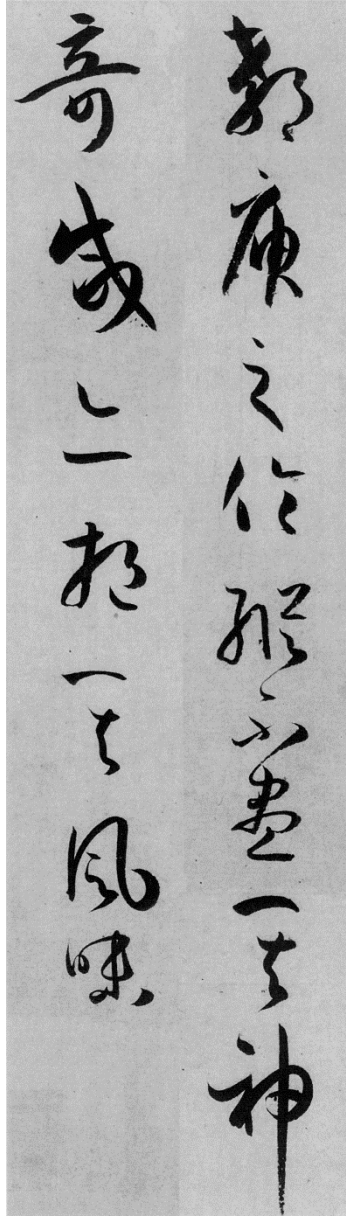
課題3 書譜

課題1・2 雁塔聖教序

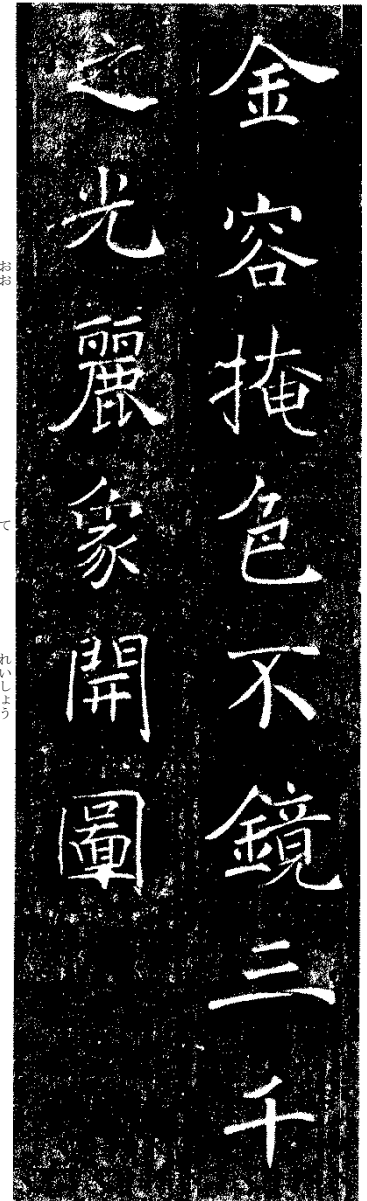


【読み】百王改めず。孔子は近聖にして、漢の為に道を定め、天

聖道自



【読み】邠庠の倫に至りては、縦い其の神奇を尽くさずとも、咸亦其の風味を挹む。



【読み】金容は色を掩いて、三千の光を鏡らさず、麗象は図を開きて、

出品券はWEB 書究 10月号に掲載しております。
貼り忘れのないようお願い致します。

検定料振替口座 02750-5-21888
書究文化書芸院

	部門	最高位	作品	課題	検定料	締切
漢字部	一科	特級まで認定	半紙 1点	課題1	1,650円	12月5日
	二科	初段まで認定	半切 1点	課題2	3,300円	
	三科	四段まで認定	半切 2点	課題2.3	4,950円	
	四科	師範まで認定	半切 3点	〃 2.3.4	6,600円	

仮名部	一科	特級まで認定	半紙たて行数自由 1点	課題5	1,650円
	二科	二段まで認定	一科課題と課題6を半紙ちらし書き	課題5.6	3,300円
	三科	四段まで認定	半切 2点	課題5.6	4,950円
	四科	師範まで認定	三科課題と半横紙(文自由) 1点	課題5.6 半横紙作	6,600円
硬筆部	一科	特級まで認定	B5判たて西洋紙たて書き	課題7	1,650円
	二科	二段まで認定	一科課題と年賀はがき(官製)	課題7.8	3,300円
	三科	四段まで認定	二科課題と400字詰原稿用紙	〃 7.8.9	4,950円
	四科	師範まで認定	三科課題と実用語句	〃 7.8.9.10	6,600円
実用部	一科	特級まで認定	半紙1/2たて書き楷(上段)行(下段)に	課題11	1,650円
	二科	二段まで認定	一科課題と年賀はがき(官製)	〃 11.12	3,300円
	三科	四段まで認定	二科課題とB4毛筆賞状(市販実物)	〃 11.12.13	4,950円
	四科	師範まで認定	三科課題と実用語句	〃 11.12.13.14	6,600円
詩文書部	一科	特級まで認定	半切 1/3	課題15	1,650円
	二科	二段まで認定	全紙 1/3	課題15	3,300円
	三科	四段まで認定	全紙 1/3を2点	〃 15.16	4,950円
	四科	師範まで認定	三科課題と半切(たて・よこ・自由)	〃 15.16.17	6,600円

1月6日

令和四年後期検定要項

▼月例で学んだ成果を計ることができません。実力相当の段級に認定され、飛び級で昇段昇級することもあります。

▼各部には一科から四科まで部門があります(前ページ参照)。一〇〇まで認定」というのは、その科での最高位を示していますので、たとえば漢字部初段の人が二科を受けると、二科では初段が最高位ですから、留位となつてしまいます。この場合は二科ではなく、三科以上を受けた方がよいこととなります。受験者は現段級より上のどの科を受検しても構いません。

▼漢字部、仮名部、硬筆部、実用部、詩文書部はそれぞれ別部門ですので、検定料は別々に納付下さい。結果の認定証も別々に授与されます。

※検定結果についての異議の申し立てはできません。

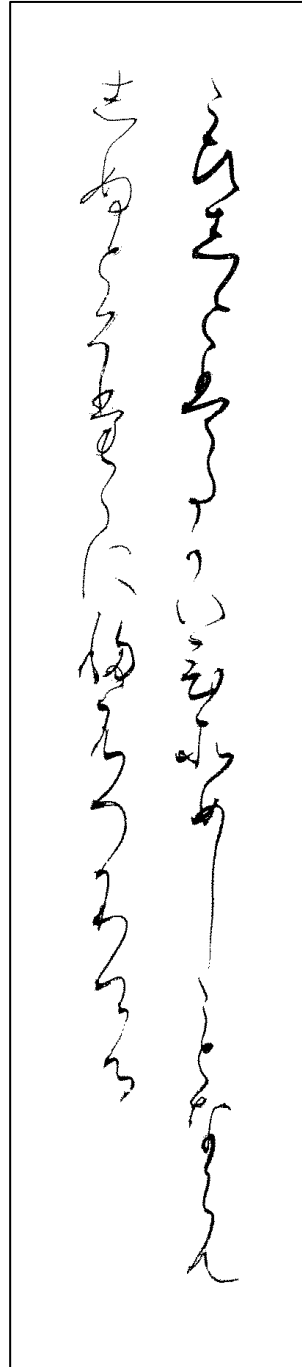
検定課題お手本

申し込み締切日 9月30日

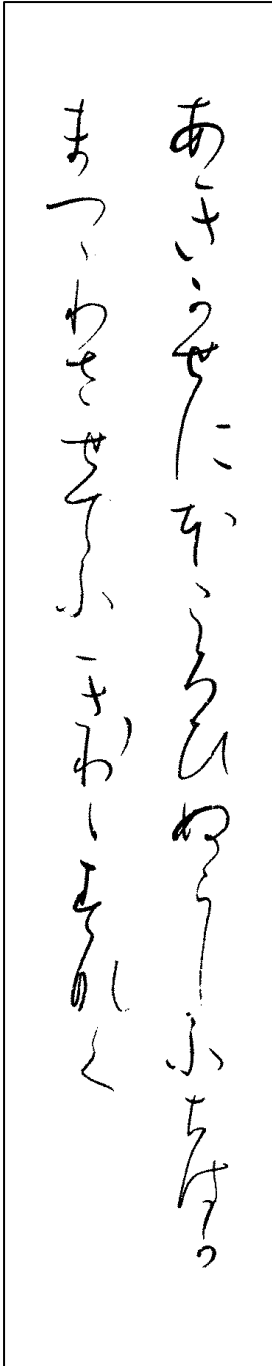
各検定課題の手下をご用意しております。

- ・半紙手本 一点 七七〇円
- ・半切手本 一点 三、八五〇円
- ・半懐紙手本 一点 三、三〇〇円
- ・実用手本 一点 五五〇円
- ・硬筆手本 一点 五五〇円
- ・詩文書手本 半切 1/3 一点 一、六五〇円
- ・詩文書手本 全紙 1/3 一点 三、三〇〇円
- ・詩文書手本 半切 一点 三、八五〇円

受検する科を確認の上、お申込み下さい。
漢字部お手本は順次発送、それ以外のお手本は十月下旬頃に発送を予定しています。



【読み】こひ志と盤 多可い飛所めし ことならん 志ぬと曾堂に 移不へ可利介る



【読み】あき可せに 本ころひぬらし ふちは可ま つゝ利させてふ き利ぎり春那久

漢字部	課題1	雁塔聖教序「三千之光」	4字	実用部	課題11	「寒冷前線・大雪山系・交流事業・公募作品」を楷行の二体で毛筆使用。
	課題2	〃 「金容掩色。不鏡三千之光。麗象開圖」	14字		課題12	年賀はがき(官製はがき)1枚。宛名自由。毛筆使用。
	課題3	書 譜「郗庾之倫。縱不盡其神奇。咸亦抱其風味」	16字		課題13	賞状(B4判横の賞状用紙たて書き)1枚。文自由。毛筆使用。
	課題4	礼 器 碑「百王不改。孔子近聖。爲漢定道自天」	14字		課題14	日常実用語句をB4判横の西洋紙にたて書き1枚。字数自由。毛筆使用。
仮名部	課題5	関戸本古今集「こひ志と盤 多可い飛所めし ことならん 志ぬと曾堂に 移不へ可利介る」		詩文書部	課題15	冬は鐵確を打って又叫ぶ —参考古典<祭姪文稿>— 高村光太郎 詩 「冬の言葉」(抄)
	課題6	高野切第三種「あき可せに 本ころひぬらし ふちは可ま つゝ利させてふ き利ぎり春那久」 (3頁に掲載)			課題16	冬の威嚇がそこから轟々せまる —参考古典<蘭亭序>— 竹村俊郎 詩 「北國人」(抄)
硬筆部	課題7	冬ながら 空より花の散りくるは 雲のあなたは 春にやあるらむ —清原深養父—			課題17	列びし立木に風がしのぶ 車ゆき 人疎らにあゆみの反響す —書体自由— 三木露風 詩「冬」(抄)
	課題8	年賀はがき(官製はがき)1枚。宛名自由。硬筆使用。				
	課題9	400字詰め原稿用紙1枚。文自由。硬筆使用。				
	課題10	日常実用語句をB4版横西洋紙に縦書き1枚。字数自由。硬筆使用。				